

## 1993

「世界美術双書」(理論) 東信堂、～2008、13巻S/M)

\*巻号・刊行順

1巻：『バルビゾン派』（井出洋一郎著）1993年

2巻（別巻）：『キリスト教シンボル図典』（中森義宗著）同年

3巻：『パルテノンとギリシア陶器』（関隆志著）1996年

4巻：『中国の版画：唐代から清代まで』（小林宏光著）1995年

5巻：『象徴主義：モダニズムへの警鐘』（中村隆夫著）1998年

6巻：『中国の仏教美術：後漢代から元代まで』（久野美樹著）1999年

7巻：『セザンヌとその時代』（浅野春男著）2000年

8巻：『日本の南画』（武田光一著）2000年

9巻（別巻）：『画家とふるさと』（小林忠著）2002年

10巻：『ドイツの国民記念碑 1813年-1913年：解放戦争からドイツ帝国の終焉まで』（大原まゆみ著）2003年

11巻（別巻）：『日本・アジア美術探索』（永井信一著）2006年

12巻：『インド、チョーラ朝の美術』（袋井由布子著）2007年

13巻：『古代ギリシアのブロンズ彫刻：総合的推論のために』（羽田康一著）2008年

